

滋賀有機ネットワーク

所在地 滋賀県栗東市荒張 1420-1

視察日 2015年12月4日(金)

主な取扱品目

小松菜・ほうれん草・キャベツ・白菜他

生産者の声

小松菜の種をまいて芽が出ると、始めて40年経った今でもうれしいと感じます。だから続けられます。捨てなくてはいけない時は、まるで生きてるように感じているので「ごめんね」という気持ちになるので、組合員の皆さんには安定的な利用をお願いします。

視察した栗東の松井さんのハウスでは、トレセン(日本中央競馬会 栗東トレーニングセンター)から出る馬糞を堆肥として利用。土は元々粘土質だったそうだが、一部はこれもトレセンから出た土を使用し、3年かけて土壌改良。実際ハウスに入り踏んだところ、ふかふかで、土がやわらかいと根が張りやすいそう。水は井戸水を使用。年間を通して草津より3℃ほど低い事で味の良い小松菜ができる。



商品の特徴



1999年に滋賀県環境こだわり認証制度を導入しました。土作りに重点を置き、化学肥料は使わず、有機100%の肥料を使います。農薬使用は県基準の半分以下。葉物野菜(小松菜・ほうれん草)は通年ハウス栽培で、除草・収穫・出荷作業がすべて手作業です。小松菜は収穫時に下葉を取ることで出荷量は減りますが、届けられた後も瑞々しさが保たれます。

参加理事のコメント

組合員に伝えたいことを伺うと「まず知ってもらいたい」と言われていました。たとえ産直商品であっても、どこでどのように作られているかを知らなければ意味がない、と。私個人をふり返ると、最近、産直マークを目安に見てそれだけで安心している傾向がありました。真に産直を大事に思うならばそこでとどまることなく、知るために自分はどう行動するか、そしてそれをどう示していくかを考えるきっかけをいただいた言葉でした。

